

前穂高岳北尾根

◆日程 2015年5月2日(土)～5月3日(日)

◆メンバー L：河野、須田、日比野、

5月3日(土) 天候：

3時に起床して朝食のラーメンを食べる。前穂北尾根ルートにはすでに歩き始めているパーティーが見える。雫さんはザイテングラードから奥穂往復、渡辺さんはテントキーパー、河野さん、日比野さん、須田の三名は前穂北尾根ルートに登る予定だ。

4時半に雫、渡辺兩人に見送られてテン場を出発した。雪面の状態はこの時間でも締まってはならず、歩きづらい。トレースのついてある跡を辿って進んだ。30分程登ったところで下の方で何か転がる音がしたので振り向くと、最後尾にいた河野さんの赤いヘルメットがコロコロと落ちて行くのが見えた。視界から外れ、かなり下まで落ちて行ったようだ。ヘッドランプを外そうとして誤ってヘルメットまで外してしまったとのこと。空身で河野さんがヘルメットを探しに行き、30分くらいで戻ってきた。幸いヘルメットは破損していないようだ。

気を取り直して再び登り始め、五・六の科尔まで達するとそこでハーネスを装着した。まだロープを出すほどではないが、ここから岩稜帯になり、かなりの部分で岩が露出している。この時期、雪はだいぶ融けているようだ。かなり急傾斜の雪壁の箇所は一步ずつ慎重にキックス



4・5の科尔への登り

テップで足場を固めながら進んだ。両側が切れ落ちた稜線を進んでいくとピラミダルな美しい山容の4峰が見えてきた。ところが、四・五の科尔に15人ほど居て、渋滞しているのか?と思って近づくと、つい先ほど事故があったと言われた。

先行パーティーの落石を受けて雪渓を100m以上滑落し、心肺停止の状態である。長野県警には既に連絡済みでヘリがこちらに向かっているが、警察からは前穂北尾根ルートの登攀は中止せよとの命令が出ているのでこれから先には進めません、という話だった。奥又白谷側の急な雪渓に目を凝らしたがかなり下まで滑落したらしく、それらしき姿は見つからなかった。登攀中止命令が出ている以上、涸沢に戻るより仕方がない。テン場にいる渡辺さんと無線交信をしてから元来たルートを引き返し始めるとすぐに警察のヘリがやってきて救助作業にあたっていた。それにしても去年の岳沢、剣と事故現場に遭遇することが続いている。バリエーションルートだから危険なのは当たり前だが、



5峰の登り 後は6峰

こうも続くと気持ちが悪い。自分たちがへりに乗らないように細心の注意が必要だろう。

五・六の科尔までの下りも雪がグズグズになっているので、急斜面は後ろ向きで一步ずつ足場を固めながら慎重に下って行った。五・六の科尔からは涸沢まで駆け降りるだけだ。涸沢のテン場の前で警察官が3人待っていて、事故を目撃したかと聞かれた。事情を説明したらすぐに納得してくれたが、目撃者を捜しているようだった。しばらくして雫さんも奥穂から下りてきたが、涸沢岳も登ってきたとのこと。流石である。

皆で話し合い、今日中に松本まで下りることにした。徳沢で上高地のゲートが19時に閉まるため、最終のタクシーが18:20頃であることがわかり、すぐにタクシーの予約を入れて先を急いだ。時間ギリギリだったため私が先行してタクシーを引き留めておいた。新島々近くの竜島温泉で汗を流してから松本駅に。一昨日ステーションビバークしたところにザックを置いてから居酒屋探しに。混雑していて何軒か断られたが雰囲気の良い店に運よく入れた。そこで合宿の打ち上げを行い、皆さんしたたかに酔っぱらって夜が更けた。



4・5の科尔に4人が集まっている。

(記：須田)

CT：3:00 起床～4:30 涸沢発～5:00 休み～6:00 五・六の科尔～7:30 四・五の科尔～9:00 五・六の科尔～10:00 涸沢 13:15 下山開始～13:50～14:40～15:20 横尾～18:10 上高地



5峰から、